

尾張旭市教育委員会

(平成31年4月)

定例会議録

尾張旭市教育委員会

尾張旭市教育委員会（4月）定例会会議録

1 日 時 平成31年4月17日（水）午後2時00分

2 場 所 市役所3階 講堂（2）

3 出席者 教育長 河村 晋
委員 大川 将史
委員 大岩 裕泰
委員 山本 真依子
委員 堀 祐子

4 出席職員 教育部長 大津 公男
管理指導主事 川本 幸則
教育行政課長 田島 祥三
学校給食センター所長 鬼頭 純子
生涯学習課長 坂田 みどり
図書館長 加藤 博英
文化スポーツ課長 西尾 哲弥
指導主事 山下 浩司
教育行政課長補佐 加藤 貴之
教育行政課主査 小笠原 久美子

5 傍聴者 なし

6 会議に付した事件

第10号議案 尾張旭市文化財保護審議会委員の委嘱について

	開　会　　午後2時00分
教　育　長	<p>本日の出席者は5名です。定足数に達しておりますので、ただいまから、4月定例教育委員会を開催します。</p> <p>今年の4月は、例年より少し寒い日が多くあったため、桜も4月第2週までしっかりと咲いていて、子どもたちの門出の日には最高の演出ができたと思います。また、委員の皆さんには入学式に御出席いただきありがとうございました。</p> <p>年度の替わりということから、3月29日には、市、学校のそれぞれ退職者辞令伝達式が行われ、学校関係者では、昨年度より2名多く20名の教職員の方々が退職されました。本当にお疲れ様でございました。</p> <p>そして、4月1日には校長、教頭の昇任、新任教職員の辞令伝達を行いました。尾張旭市の教育の充実に向け、しっかりと子どもたちを育てていってほしいことをお伝えさせていただきました。</p> <p>教育委員会事務局についても先の3月定例会に報告させていただいたように異動があり、新しいメンバーとともに一年間よろしくお願いします。それでは、私の報告の前に、4月に異動しました事務局職員より自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>(教育委員会事務局異動者あいさつ)</p> <p>それでは続いて私からの報告をさせていただきます。本日の報告は1件です。</p> <p>(資料に基づき説明)</p> <p>・愛日地方教育事務協議会</p> <p>それでは次第の2「前回会議録の承認について」に入ります。各委員は、3月定例会会議録について、訂正等がありましたらお願ひします。</p> <p>(無しの声)</p>
教　育　長	<p>無いようですので、3月定例会会議録は原案どおり承認します。会議録承認の署名を行う委員は大川委員を指名しますので、後ほどお願ひし</p>

	ます。
	次に、次第の3報告に入ります。事務局から報告をお願いします。
管理指導主事	(資料に基づき説明) ・4月校長会議等について
教育長	ただいまの報告に対しまして、質問はございませんか。 (無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
教育行政課長	(資料に基づき説明) ・後援・推薦行事について ・平成31年度尾張旭市中学生海外研修事業について
指導主事	(資料に基づき説明) ・尾張旭市立小中学校不登校児童生徒年度別・月別推移について ・平成31年度尾張旭市立小中学校主任・主事の任命について ・平成31年度学校別児童・生徒・学級数について
教育長	ただいまの報告に対しまして、質問はございませんか。
大岩委員	中学生海外研修事業について、昨年それぞれの学校間でアナウンスの違いがあるため、応募人数に差があると説明を受けましたが、今年は応募人数が増えるように募集するときに対策を立てられたのですか。
指導主事	これまで紙面での発表のみ行っていた学校は、文化発表会等で体験者が話をする場を設けることで積極的にPRしました。今回応募した作文を読みますと、先輩たちの活動の発表に刺激を受けて不安であったが応募したというような内容もあったことから、発表方法を変えたことが応募者の増加に繋がったと思います。
教育部長	例年は海外研修について終わった後に一度発表するだけでしたが、今年は募集期間中に再度学校に紙面を掲示してもらいました。
教育行政課長	応募が少なかった学校では積極的に声をかけていただき、応募者の増加に繋げることができました。
教育長	他に質問はございませんか。

大川委員	不登校の児童生徒数は月を重ねるごとに増えていると感じます。毎年
	同じ時期に不登校になりやすいという傾向はあるのでしょうか。
指導主事	不登校の原因について分析しますと、近年特に多くなっているのが、ゲームやスマートフォンの利用による生活習慣の乱れからくる無気力の症状や、人間関係の構築がうまくできないことが根底にある不安の症状などがあります。不安の症状が不登校の原因では一番多いものとなります。無気力の症状になる子については、夏休みの長期休暇を境にしてよりその症状が出てしまうことがあります。また、不安の症状になる子は、体育祭や文化祭など行事が多くなる2学期に学校に来ることができなくなってしまう傾向にあります。
	中学校では不登校の子については、クラスとは別に保健室やそれ以外の部屋で授業を行ったり、授業後に教員が授業を行ったりすることで対応しているという報告も受けています。
教育長	不登校児童生徒についてですが、尾張旭市の人數の推移は確認できるのですが、その数字が全国や県の割合と比べて多いのでしょうか。それとも少ないのでしょうか。全国や愛知県と比較できるとよいと思います。
指導主事	市内全体の児童生徒人数に対する不登校児童生徒の人数を出現率として分析をしているのですが、小学校の出現率は尾張旭市0.4%、愛知県0.66%、全国0.54%となっています。また、中学校では尾張旭市2.8%、愛知県3.66%、全国3.25%という数値になっています。県や全国平均よりは少ないのですが、昨年度は不登校児童生徒数が例年より増えたため、県や全国平均の数値に近づいています。
教育長	不登校や不登校になりそうな子どもを合わせると、全国で41万人いると言われています。この人數は1クラスに5、6人いるという計算になります。早め早めの方策を立てる必要があると感じます。子どもたちには学校や学校以外にも自分の居場所を作つてあげることが大切だと思います。学校の教室には入れないけど保健室なら学校に来ることができます。学校以外のフリースクールなら行くことができるなど、不登校や

	不登校ぎみの子どもたちが無理をしないよう見守って欲しいと思います。
	本市は月7日以上の不登校児童生徒を集計していますが、全国や愛知県は年間30日以上の不登校児童生徒を集計しています。本市はなぜ独自に集計をしているのですか。
指導主事	本市は不登校の兆しが見える月7日以上の欠席を重要と捉え初期対応ができるようにしているため、月7日以上という人数を集計しています。愛知県などは不登校の決定をするには長期の期間が必要という考えにより、年間30日以上という集計をしていることから、本市との違いがあるものと考えます。
教育長	月7日以上の欠席を集計しているのですが、実際に何日欠席が続いたら対応しているのですか。
指導主事	本市では1、2日では電話連絡、3日以上欠席が続くと家庭訪問を確実にするよう学校では指導しています。
教育長	他に質問はございませんか。
大岩委員	いじめや不登校は特定のクラスに多かったりするのでしょうか。
指導主事	学級に原因があり特定のクラスにだけ多くなるということはありません。
教育長	他に質問はございませんか。 (無しの声) 無いようですので、次の報告をお願いします。
給食センター所長	(資料に基づき説明) ・平成31年度当初アレルギー対応給食提供人数について
教育長	ただいまの報告に対しまして、質問はございませんか。 アレルギー対応給食を提供することで給食センターが苦慮していることはありますか。
給食センター所長	現在尾張旭市でアレルギー対応給食を提供者している子どもの保護者以外の方から、対応給食の書類を依頼され、説明することが増えています。

	ます。
	ただ全体としては、以前は各個人の希望に合わせた多段階の対応を実施していましたが、一律の対応に変更したため、給食の提供がシンプルになり、アレルギーのある子どもの保護者からは、わかりやすいという意見をいただいています。アレルギー対応給食を提供している子どもの保護者やそれ以外の方、また学校に対しても安心感を持っていただけるよう努めています。
教育長	他に質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
文化スポーツ課長	(資料に基づき説明) ・第66回尾張旭市民体育大会の開催について
教育長	ただいまの報告に対しまして、質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次に次第の4、付議事件に入ります。
文化スポーツ課長	(資料に基づき説明) ・第10号議案 尾張旭市文化財保護審議会委員の委嘱について
教育長	ただいま説明がありましたが、これに対してご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
	再任されました委員については何年務めていただいているか。
文化スポーツ課長	平成21年から務めていただいており、今回の再任で6期目となります。
教育長	他に質問はございませんか。
	無いようですので、「第10号議案 尾張旭市文化財保護審議会委員の委嘱について」は原案どおり承認してよろしいですか。
	(全員異議なく原案どおり承認)
	次に、次第の5、その他に入ります。事務局から説明をお願いいたします。
	ます。

